

京都市告示第 4 2 3 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する条例に基づき、平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日までの期間における京都市公営企業の業務状況を公表します。

平成 23 年 2 月 17 日

京都市長 門 川 大 作

平成22年度前期京都市病院事業業務状況

1 事業の概況

当期の病院事業においては、引き続き、患者サービスの向上、病床の有効活用や事務の効率化及び救急患者の積極的な受入れなど経営改善に努めました。

一般診療関係では、入院患者数は、前年度同期に比べ延べ67人（0.1パーセント）増加し、延べ80,174人となり、1日平均では前年度同期と同じ、439人となりました。また、外来患者数は、前年度同期に比べ延べ2,610人（1.7パーセント）減少し、延べ151,495人となり、1日平均では31人減少し、1,222人となりました。

一方、感染症診療では、入院患者数は、延べ158人となりました。

診療収入は、入院収益が37億4,663万円、外来収益が14億1,873万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で2億8,209万円（8.1パーセント）の増収、外来収益で8,790万円（6.6パーセント）の増収となり、診療収入全体では3億6,999万円（7.7パーセント）の増収となりました。

当期における病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

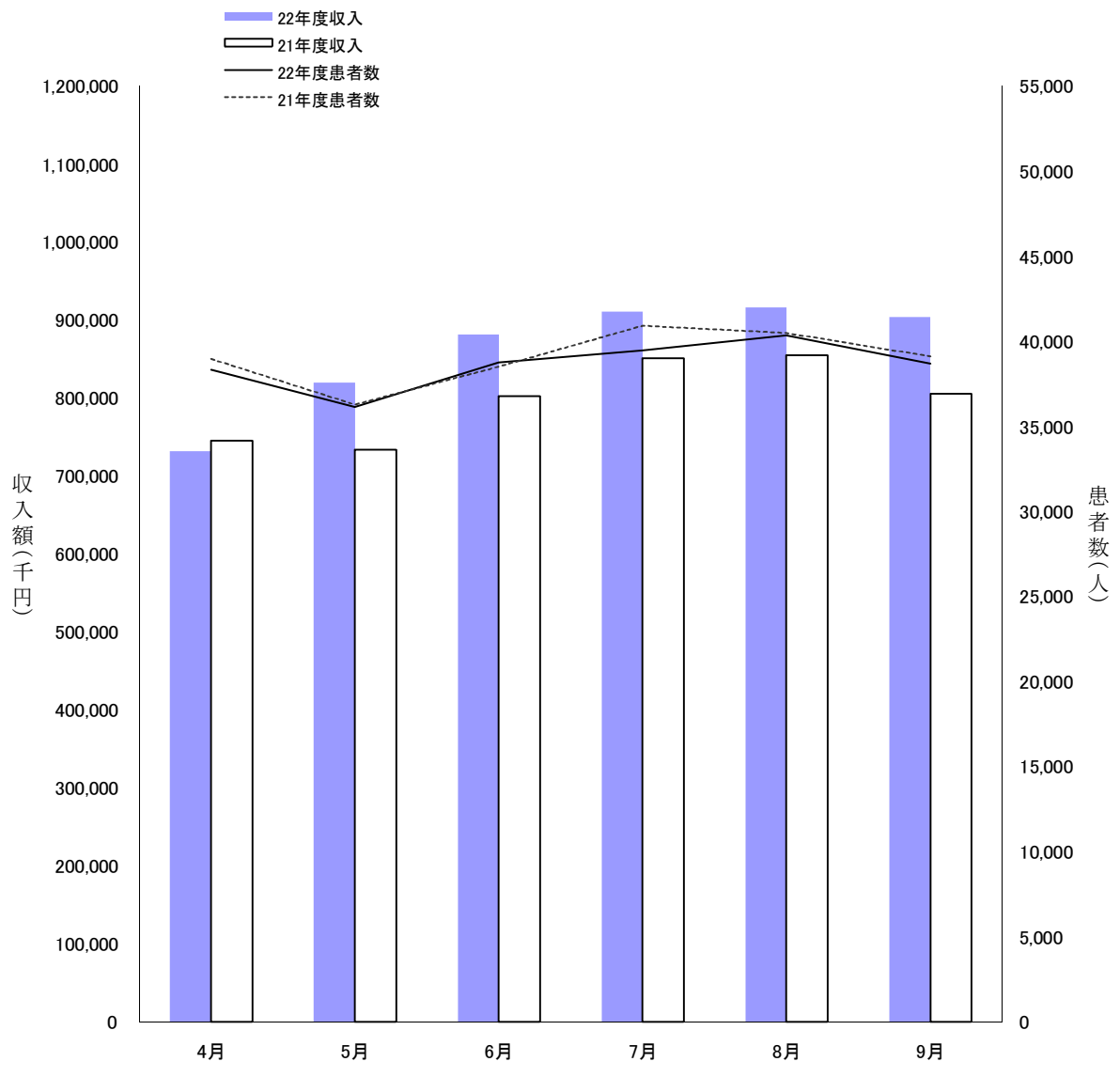
患者数及び収入額

月 別	項 目	入 院		外 来		収入額合計
		患 者 数	収 入 額	患 者 数	収 入 額	
平成22年		人	千円	人	千円	千円
4 月		12,542	496,800	25,810	235,533	732,333
5 月		12,945	604,591	23,220	215,205	819,796
6 月		12,818	635,061	25,947	246,860	881,921
7 月		13,772	666,984	25,718	244,012	910,996
8 月		14,473	678,256	25,895	237,966	916,222
9 月		13,782	664,937	24,905	239,152	904,089
合 計		80,332	3,746,629	151,495	1,418,728	5,165,357
1 日 平 均		439	20,473	1,222	11,441	31,914
前年度同期1日平均		439	18,932	1,253	10,820	29,752

備考1 営業日数は、入院183日、外来124日です。

2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と感染症診療の合計です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。



2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	5,695,327	医 業 収 益	5,236,074
給 与 費	3,361,937	入 院 収 益	3,746,630
材 料 費	1,349,839	外 来 収 益	1,418,728
経 費	967,997	そ の 他 医 業 収 益	70,716
研 究 研 修 費	15,554	医 業 外 収 益	170,305
医 業 外 費 用	140,914	受 取 利 息 配 当 金	523
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	49,994	そ の 他 医 業 外 収 益	169,782
院 内 保 育 所 運 営 費	48,654	当 期 純 損 失	429,862
雑 損 失	41,818		
雑 支 出	448		
合 計	5,836,241	合 計	5,836,241

備考1 当期は、減価償却費を計上していません。

2 当年度減価償却予定額は、6億4,766万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	8,158,350	流 動 負 債	917,866
有 形 固 定 資 産	7,750,810	未 払 金	884,586
無 形 固 定 資 産	540	未 払 費 用	1,893
投 資	407,000	前 受 金	1,780
		預 り 金	787
流 動 資 産	3,293,154	預 り 有 価 証 券	31,500
現 金 預 金	1,144,526	資 本 金	10,117,394
未 収 金	1,941,318	自 己 資 本 金	3,894,282
貯 蔵 品	157,875	借 入 資 本 金	6,223,112
前 払 費 用	234	剰 余 金	416,244
前 払 金	17,701	資 本 剰 余 金	798,302
保 管 有 価 証 券	31,500	欠 損 金	382,058
合 計	11,451,504	合 計	11,451,504

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、146億5,026万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円	千円	千円	千円
6,712,428	0	489,316	6,223,112

平成22年度前期京都市病院事業業務状況（京北病院）

1 事業の概況

当期の病院事業（京北病院）においては、病院と診療所，訪問看護ステーションが一体となって，高齢者を中心とする地域住民が必要とする保健・医療・福祉サービスの提供に努めました。しかしながら，今年度は，昨年度4名であった常勤医師が2名になるなど，医師の確保において，厳しい状況が続いています。

診療関係では，入院患者の一般病床では延べ3,693人，療養病床では延べ4,024人で，全体で延べ7,717人となり，前年度同期に比べ延べ1,048人（12.0パーセント）の減少，また，1日平均では6人減少し，42人となりました。

一方，病院の外来患者数は延べ15,613人，診療所の患者数は述べ990人，更に訪問看護患者数の延べ2,395人を合わせた全体で延べ18,998人となり，前年度同期に比べ延べ264人（1.4パーセント）の減少，1日平均では4人減少し153人となりました。

診療収入は，入院収益が1億5,567万円，診療所収益及び居宅サービス事業収益を含めた外来収益が1億1,320万円となり，前年度同期に比べ，入院収益で1,327万円の減収，外来収益で18万円の増収となり，診療収入全体では1,309万円（4.6パーセント）の減収となりました。

当期における京北病院事業の患者数及び収入額は，次のとおりです。

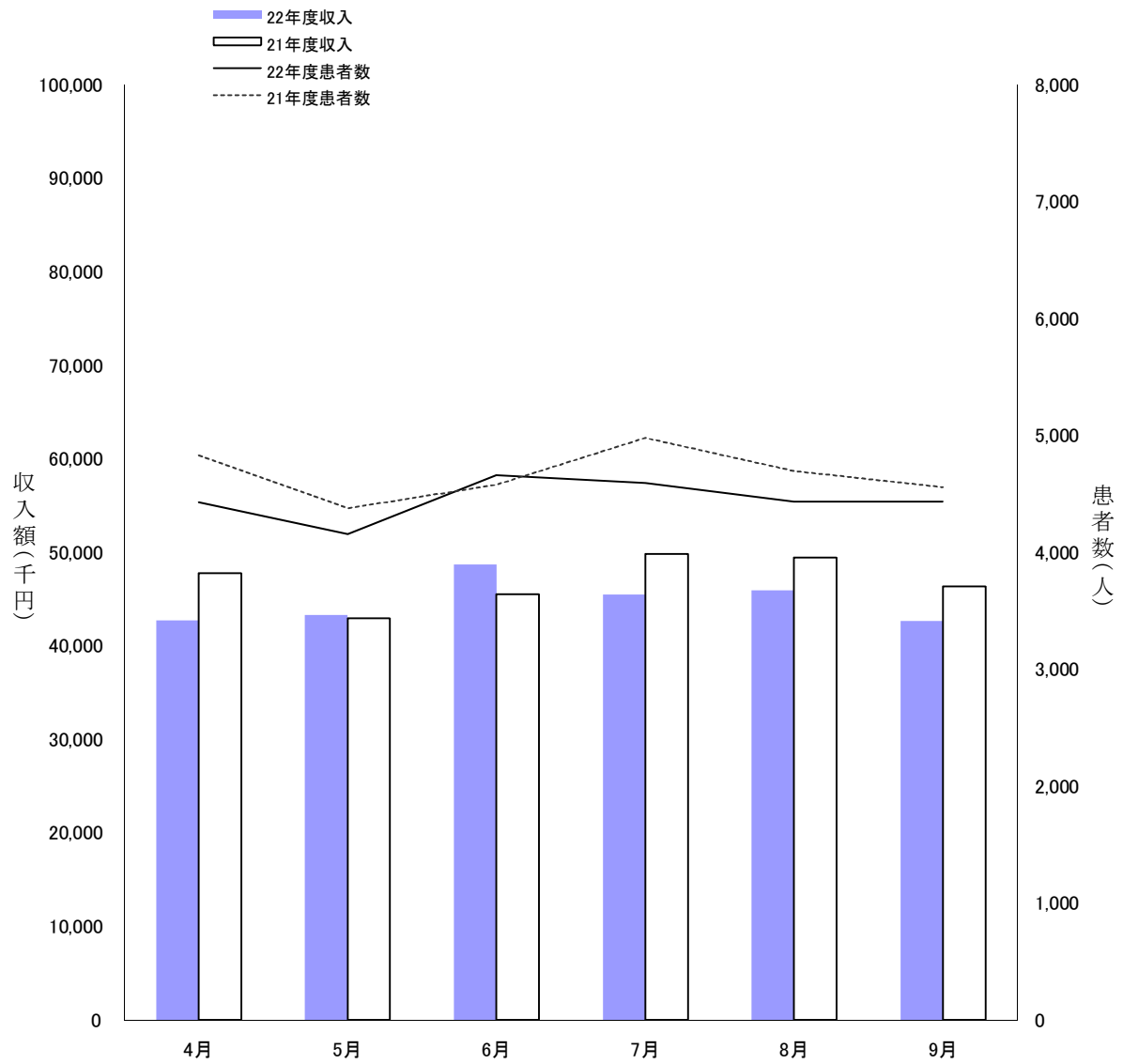
患者数及び収入額

月 別	項 目	入 院		外 来		収入額合計
		患 者 数	収 入 額	患 者 数	収 入 額	
平成22年		人	千円	人	千円	千円
4 月		1,204	23,861	3,224	18,853	42,714
5 月		1,329	26,843	2,831	16,493	43,336
6 月		1,394	28,718	3,268	20,016	48,734
7 月		1,259	25,307	3,334	20,173	45,480
8 月		1,352	27,352	3,084	18,598	45,950
9 月		1,179	23,593	3,257	19,068	42,661
合 計		7,717	155,674	18,998	113,201	268,875
1 日 平 均		42	851	153	913	1,764
前年度同期1日平均		48	923	157	919	1,842

- 備考 1 営業日数は、入院183日、外来124日です。
- 2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と療養診療の合計です。
- 3 外来の患者数及び収入額は、病院、診療所及び居宅サービス（訪問看護）の合計です。
- 4 消費税相当額を含みます。

(参考) 入院・外来の詳細

区 分	患 者 数	収 入 額
入 院	7,717	155,674
一 般 療 養	3,693	91,826
	4,024	63,848
外 来	18,998	113,201
病 院	15,613	85,127
黒田診療所	213	1,028
山国診療所	468	2,174
細野診療所	90	474
宇津診療所	219	1,113
居宅サービス	2,395	23,285



2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	380,393	医 業 収 益	410,134
給 与 費	262,687	入 院 収 益	155,674
材 料 費	23,042	外 来 収 益	85,127
経 費	94,481	診 療 所 収 益	4,789
研 究 研 修 費	183	居 宅 サ ー ビ ス 事 業 収 益	23,285
医 業 外 費 用	7,765	他 会 計 負 担 金	138,903
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	7,659	そ の 他 医 業 収 益	2,356
雑 支 出	104	医 業 外 収 益	33,679
雑 損 失	2	受 取 利 息 配 当 金	0
当 期 純 利 益	55,655	他 会 計 負 担 金	31,097
		そ の 他 医 業 外 収 益	2,582
合 計	443,813	合 計	443,813

備考1 当期は、減価償却費を計上していません。

2 当年度減価償却予定額は、4,200万円です。

3 消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	1,058,329	固 定 負 債	407,000
有 形 固 定 資 産	1,058,329	長 期 借 入 金	407,000
無 形 固 定 資 産	0	流 動 負 債	24,249
流 動 資 産	251,584	未 払 金	24,249
現 金 預 金	99,661	預 り 金	0
未 収 金	120,130	預 り 有 価 証 券	0
貯 蔵 品	8,751	資 本 金	1,163,174
前 払 費 用	501	自 己 資 本 金	740,614
前 払 金	22,541	借 入 資 本 金	422,560
保 管 有 価 証 券	0	剰 余 金	△ 284,510
		資 本 剰 余 金	359,244
		欠 損 金	643,754
合 計	1,309,913	合 計	1,309,913

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、10億9,517万円です。

2 消費税相当額を含みます。

3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円	千円	千円	千円
445,001	0	22,441	422,560

平成22年度前期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

自動車運送事業（市バス）は、きめ細やかに張り巡らせた路線のネットワークにより、市民生活に欠くことのできない身近な公共交通機関として、また、観光客の便利で手頃な交通手段として、多様な都市活動を支えています。さらに、高齢者や障害のある方への対応、低炭素化社会の実現に向けた自家用車から公共交通への利用転換など、人や環境にやさしい交通機関としてもその重要性を増しています。

しかしながら、交通手段の多様化や景気低迷によるお客様の減少でバス事業を取り巻く経営環境は全国的に厳しく、人口減少社会の到来などにより、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

2 経営健全化の取組

平成22年度前期は、財政健全化法に基づく新たな経営健全化計画として、平成22年3月に策定した「京都市自動車運送事業経営健全化計画」に基づき、黒字基調を堅持し、一般会計からの任意補助金に頼らない運営を目指すという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

平成22年3月に河原町通（今出川～京都駅間）の平日時間帯において3～4分の等間隔運行を実施し、利便性の向上を図りましたが、そのPRに努めるとともに、ゴールデンウィーク等においては、金閣寺 Express、銀閣寺 Express や東山シャトル等の臨時輸送の増強を行うなど、積極的な利用促進に取り組みました。また、昨年度に引き続き、学校の夏休み期間中、市バスを保護者同伴でご利用の場合に小学生2人までの小児運賃を無料とする「市バス eco サマー」を実施しました。

(2) コスト削減の取組

コスト削減策では、給与カットの継続など総人件費の削減に取り組むと

ともに、経費の節減にも努めました。

(3) 運輸成績

〔平成22年4月 1日から〕
〔平成22年9月30日まで〕

区 分		当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)		183	183	-	-
営業キロ数 (km)		458.06	434.69	23.37	5.1%
在籍車両数 (両)		765	765	-	-
使用車両数 (両)	一般路線	122,201 (668)	120,512 (659)	1,689 (9)	1.4% (1.4%)
	定期観光	413 (2)	425 (2)	△ 12 (0)	△ 2.9% (0.0%)
	合計	122,614 (670)	120,937 (661)	1,677 (9)	1.4% (1.4%)
走行キロ数 (km)	一般路線	14,767,016 (80,694)	14,722,730 (80,452)	44,286 (242)	0.3% (0.3%)
	定期観光	24,959 (136)	25,241 (138)	△ 282 (△ 2)	△ 1.1% (△ 1.4%)
	合計	14,791,975 (80,830)	14,747,971 (80,590)	44,004 (240)	0.3% (0.3%)
旅客数 (人)	一般路線	58,347,649 (318,839)	56,922,264 (311,051)	1,425,385 (7,788)	2.4% (2.4%)
	定期観光	12,189 (67)	11,948 (65)	241 (2)	2.0% (2.6%)
	合計	58,359,838 (318,906)	56,934,212 (311,116)	1,425,626 (7,790)	2.4% (2.4%)
旅客収入 (千円)	一般路線	9,253,915 (50,568)	9,028,985 (49,339)	224,930 (1,229)	2.4% (2.4%)
	定期観光	43,011 (235)	43,599 (238)	△ 588 (△ 3)	△ 1.4% (△ 1.4%)
	合計	9,296,926 (50,803)	9,072,584 (49,577)	224,342 (1,226)	2.4% (2.4%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

〔平成22年 4月1日から〕
〔平成22年9月30日まで〕

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	8,140,637	自動車運送事業収益	11,131,859
営業費用	8,057,118	営業収益	10,062,128
保 存 費	586,084	運 送 収 益	9,212,985
運 転 費	3,689,317	そ の 他	849,143
管 理 費	2,998,119	営業外収益	1,069,731
減 価 償 却 費	783,598	受取利息及び配当金	5
営業外費用	83,519	他会計補助金	1,065,111
支 払 利 息	71,254	そ の 他	4,615
雑 支 出	12,265		
当期純利益	2,991,222		
合 計	11,131,859	合 計	11,131,859

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

〔平成22年9月30日現在〕

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	27,024,517	固 定 負 債	800,000
有形固定資産	27,001,080	他会計借入金	800,000
無形固定資産	11,232	流 動 負 債	7,662,534
建設仮勘定	1,205	一時借入金	6,850,000
投 資	11,000	未 払 金	252,696
流 動 資 産	1,708,166	預 り 金	191,696
現 金 預 金	327,248	前 受 金	366,641
未 収 金	1,037,613	仮 受 金	1,501
貯 蔵 品	26,008	資 本 金	15,148,849
前 払 金	90,969	自 己 資 本 金	6,755,288
前 払 費 用	24	借 入 資 本 金	8,393,561
仮 払 金	226,304	剰余金(欠損金)	5,121,300
		資 本 剰 余 金	10,882,228
		欠 損 金	△ 5,760,928
合 計	28,732,683	合 計	28,732,683

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、213億350万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	9,545,958	0	1,152,397	8,393,561
合 計	9,545,958	0	1,152,397	8,393,561

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、68億5千万円です。

平成22年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

高速鉄道事業（地下鉄）は、烏丸線と東西線の2路線で市域を東西南北に貫き、他の鉄道路線との接続による広域的な交通ネットワークを形成するとともに、市内に網の目のように張り巡らせた市バス路線と合わせ、市民や観光客の大切な足として多様な都市活動を支え、本市交通の基幹となる役割を果たしています。

高速鉄道事業は、一般的に建設費用が巨額であるため、収支の採算を確保するには極めて長期間を必要とします。本市高速鉄道事業の場合、東西線の建設時期が建設費高騰のバブル期と重なったこともあり、多額の建設費の償還に係る利息及び減価償却費等の負担が大きいうえ、都市の規模が小さいために、採算を取れる旅客数を確保することが極めて難しい状況にあります。また、景気の低迷等によりお客様の数が伸び悩んでいることから、全国一厳しい財政状況となっています。

2 経営健全化の取組

平成22年度前期は、財政健全化法に基づく新たな経営健全化計画として、平成22年3月に策定した「京都市高速鉄道事業経営健全化計画」に基づき、将来にわたって地下鉄を安定的に運営していくという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

烏丸御池駅での最終列車の全方向一斉発車（シンデレラクロス）や夜間ダイヤの増便、等間隔運行など、平成22年3月のダイヤ改正で利便性を向上させた地下鉄のPRに努めるとともに、奈良の平城遷都1300年祭の開催に合わせて、京都から奈良へのお出かけに便利な企画乗車券として、本市地下鉄全線と近鉄の一部エリアが乗り放題となる「せんとくん平城京1日電車乗車券」を発売しました。

また、経営健全化計画に掲げる1日5万人の増客目標の達成に向けた全

序的な取組を推進するため、副市長をトップに関係局の局長級職員で構成する「京都市地下鉄5万人増客推進本部」を設置したほか、烏丸線が開業した5月29日を「地下鉄の日」と定め、これを記念したイベントを実施しました。

駅ナカビジネスの推進では、災害対応型飲料自動販売機の全駅ホーム階への設置や、地下鉄オリジナルスイーツ第2弾「南山城村の抹茶ばなな」の発売など、多様な展開を図りました。また、都心部に位置し、乗降客の多い四条駅について、より利便性の高い、賑わいのある駅を目指し、駅ナカビジネスに活用できる空間を創出するため、同駅のリニューアル工事を行い、大規模店舗の開業に向けた準備を進めました。

広告事業においても、平成22年4月から地下鉄烏丸線の各駅ホームの駅名表示板の下に、駅周辺の代表的な施設名をPRする広告枠を設置するなど、新規広告媒体の導入に努めました。

(2) コスト削減の取組

駅職員業務の民間委託化の拡大実施や給与カットの継続など総人件費の削減に取り組むとともに、経費の節減にも努めました。

(3) 運輸成績

〔平成22年4月 1日から〕
〔平成22年9月30日まで〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	45,370 (248)	44,932 (246)	438 (2)	1.0% (1.0%)
走行キロ数 (km)	10,417,916 (56,929)	10,256,411 (56,046)	161,505 (883)	1.6% (1.6%)
旅客数 (人)	61,437,140 (335,722)	60,672,050 (331,541)	765,090 (4,181)	1.2% (1.2%)
旅客収入 (千円)	11,576,357 (63,259)	11,414,149 (62,372)	162,208 (887)	1.4% (1.4%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成22年 4月 1日から
(平成22年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	16,152,083	高速鉄道事業収益	14,163,775
営業費用	10,812,340	営業収益	12,415,573
保存費	1,119,741	運輸収益	11,526,443
運転費	1,034,605	その他	889,130
運輸費	1,524,035	営業外収益	1,740,853
管理費	670,148	受取利息及び配当金	9
減価償却費	6,463,811	他会計補助金	1,712,336
営業外費用	5,338,982	その他	28,508
支払利息	5,326,204	特別利益	7,349
雑支出	12,778	その他特別利益	7,349
特別損失	761		
その他特別損失	761		
		当期純損失	1,988,308
合 計	16,152,083	合 計	16,152,083

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	580,276,626	固定負債	180,928,765
有形固定資産	569,552,381	企業債	131,521,189
無形固定資産	10,528,503	その他固定負債	49,407,576
建設仮勘定	116,142	流動負債	42,326,614
投資	79,600	一時借入金	39,700,000
流動資産	1,875,431	未払金	525,795
現金預金	527,546	預り金	215,355
未収金	1,112,944	前受金	696,950
前払金	163,849	仮受金	1,188,514
仮払金	71,092	資本金	454,469,283
繰延勘定	231,226	自己資本金	167,384,348
企業債発行差金	231,226	借入資本金	287,084,935
		剰余金(欠損金)	△ 95,341,379
		資本剰余金	225,965,977
		欠損金	△ 321,307,356
合計	582,383,283	合計	582,383,283

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,013億9,060万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	252,672,239	0	9,886,705	242,785,534
出 資 債	32,000	0	0	32,000
特 例 債	15,138,667	477,000	1,156,601	14,459,066
資本費負担緩和 分 企 業 債	87,582,485	0	832,361	86,750,124
資本費平準化債	30,312,000	0	0	30,312,000
鉄道 ・ 運輸 機 構 借 入 金	52,356,290	0	2,948,714	49,407,576
長 期 借 入 金	44,685,240	0	417,838	44,267,402
合 計	385,737,391	477,000	11,875,667	374,338,724

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は397億円です。

平成22年度前期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ21万立方メートル（0.2パーセント）増加し、8,928万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期に比べ4,185万円（0.29パーセント）増加し、145億1,088万円となりました。また、当期総収益は、155億7,660万円となり、一方、当期総費用は、72億4,939万円となりました。

建設改良事業は、上水道施設整備事業として、蹴上浄水場低区配水池改良工事、山ノ内浄水場ポンプ場整備（準備）工事及び新山科浄水場導水きょ改良工事等を施行し、幹線配水管布設替え及び相互連絡管布設（延長2.3キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長13.5キロメートル）等を施行しました。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成22年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	7,249,393	水道事業収益	15,576,602
営業費用	5,304,873	営業収益	15,469,118
原水費	164,912	給水収益	14,510,876
浄水費	1,342,737	他会計負担金	41,045
配水及び給水費	1,933,677	その他営業収益	917,197
業務費	1,318,755	営業外収益	107,484
総係費	543,794	受取利息	9,281
資産減耗費	994	雑収益	98,203
その他営業費用	4		
営業外費用	1,944,520		
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,943,698		
雑支出	822		
当期純利益	8,327,209		
合 計	15,576,602	合 計	15,576,602

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。
 2 当年度減価償却費予定額は、101億7,945万円です。
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	281,748,074	固 定 負 債	2,774,270
有形固定資産	277,435,821	引 当 金	1,061,200
無形固定資産	2,399,562	企業債償還積立金	1,713,070
投 資	1,912,691		
		流 動 負 債	909,431
流 動 資 産	10,866,613	未 払 金	32
現金預金	2,214,634	前 受 金	505,415
未 収 金	3,222,006	預 り 金	203,984
有 価 証 券	999,770	預 り 有 価 証 券	200,000
貯 蔵 品	348,288		
保管有価証券	200,000	資 本 金	182,504,872
仮 払 金	25,251	自 己 資 本 金	26,453,593
短期貸付金	2,500,000	借 入 資 本 金	156,051,279
前 払 金	1,356,664		
その他流動資産	0	剰 余 金	106,443,851
		資 本 剰 余 金	92,028,034
繰 延 勘 定	17,737	利 益 剰 余 金	14,415,817
企業債発行差金	17,737		
合 計	292,632,424	合 計	292,632,424

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,813億4,133万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成22年9月30日現在)

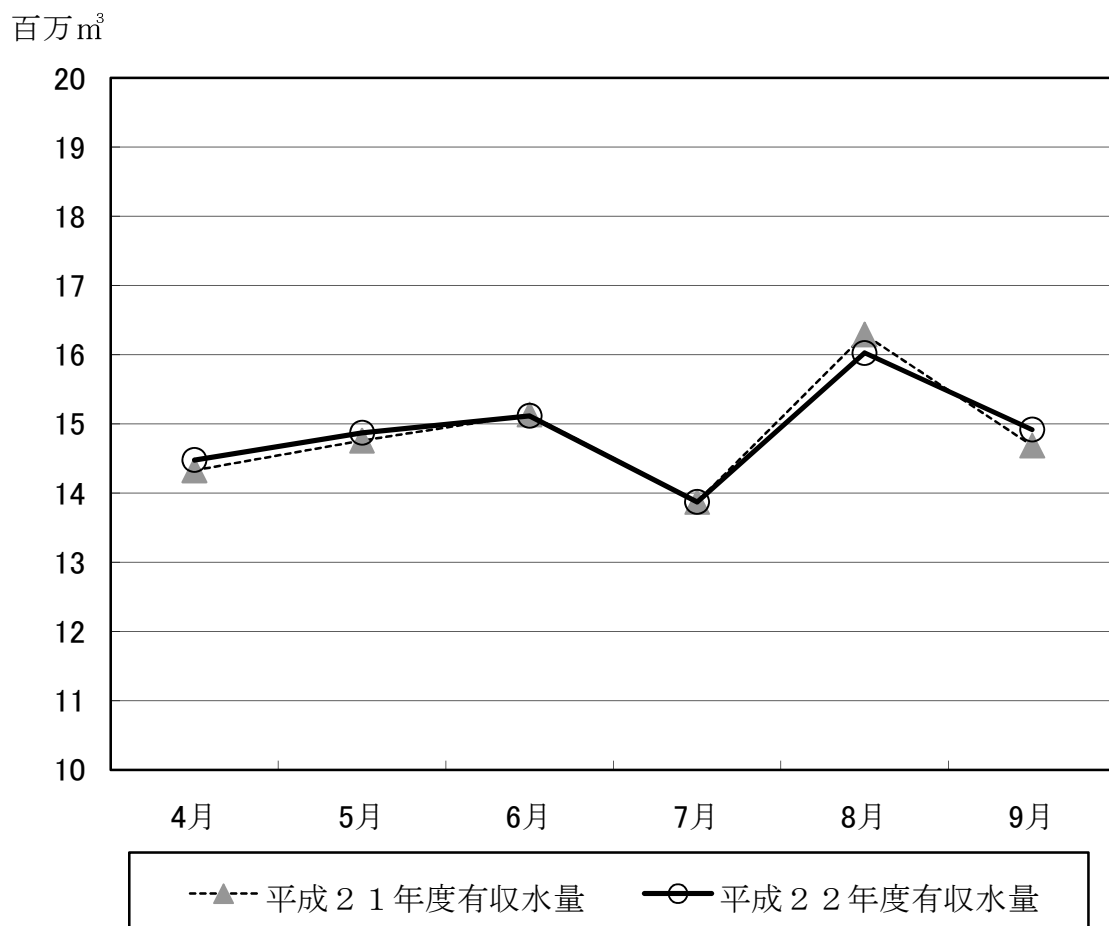
区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
企業債	161,729,187	2,072,000	6,036,838	157,764,349
合 計	161,729,187	2,072,000	6,036,838	157,764,349

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量
 当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m ³
22年 4月	14,476,536
〃 5月	14,871,467
〃 6月	15,115,718
〃 7月	13,871,040
〃 8月	16,025,450
〃 9月	14,915,692
合計	89,275,903
1日平均	487,846
前年同期1日平均	486,693



平成22年度前期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ47万立方メートル（0.5パーセント）増加し、9,707万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期に比べ1億1,053万円（0.9パーセント）増加し、130億3,676万円となりました。また、当期総収益は、231億2,725万円となり、一方、当期総費用は、99億5,004万円となりました。

建設改良事業について、管渠^{きよ}では、前年度に引き続き七条東幹線、河原町分流幹線等の各幹線工事を施行しています。

ポンプ場では、住吉ポンプ場で監視制御設備の工事を新規に施行しています。

終末処理場では、前年度に引き続き鳥羽水環境保全センターで階段炉乾燥設備の工事を、伏見水環境保全センターで合流系雨水ポンプ設備の工事を施行しています。また、石田水環境保全センターで特高受変電設備の工事を新規に施行しています。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成22年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	9,950,044	公共下水道事業収益	23,127,252
事業費用	4,875,848	事業収益	22,184,637
下水道維持費	1,016,518	下水道使用料	13,036,764
下水処理費	2,884,121	他会計負担金	8,967,640
業務費	667,409	その他事業収益	180,233
水洗便所普及 対策費	46,209		
総係費	260,977	事業外収益	942,615
資産減耗費	614	受取利息	10,130
事業外費用	5,074,196	他会計負担金	676,221
支払利息及び 企業債取扱諸費	5,072,890	他会計補助金	55,828
雑支出	1,306	雑収益	200,436
当期純利益	13,177,208		
合 計	23,127,252	合 計	23,127,252

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。
 2 当年度減価償却費予定額は、192億8,700万円です。
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	884,438,167	固 定 負 債	27,707,792
有形固定資産	881,159,970	企業債償還金	19,345,875
無形固定資産	3,238,247	企業債	7,731,000
投 資	39,950	引 当 金	630,917
流 動 資 産	12,125,992	流 動 負 債	709,498
現 金 預 金	2,729,639	未 払 金	1,590
未 収 金	2,749,238	前 受 金	352,599
貯 蔵 品	28	預 り 金	153,309
保管有価証券	202,000	預 り有価証券	202,000
短期貸付金	3,600,000		
仮 払 金	3,571	資 本 金	522,637,458
前 払 金	2,841,516	自 己 資 本 金	165,637,072
		借 入 資 本 金	357,000,386
繰 延 勘 定	47,382		
企業債発行差金	47,382	剰 余 金	345,556,793
		資 本 剰 余 金	335,782,681
		利 益 剰 余 金	9,774,112
合 計	896,611,541	合 計	896,611,541

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,632億6,967万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成22年9月30日現在)

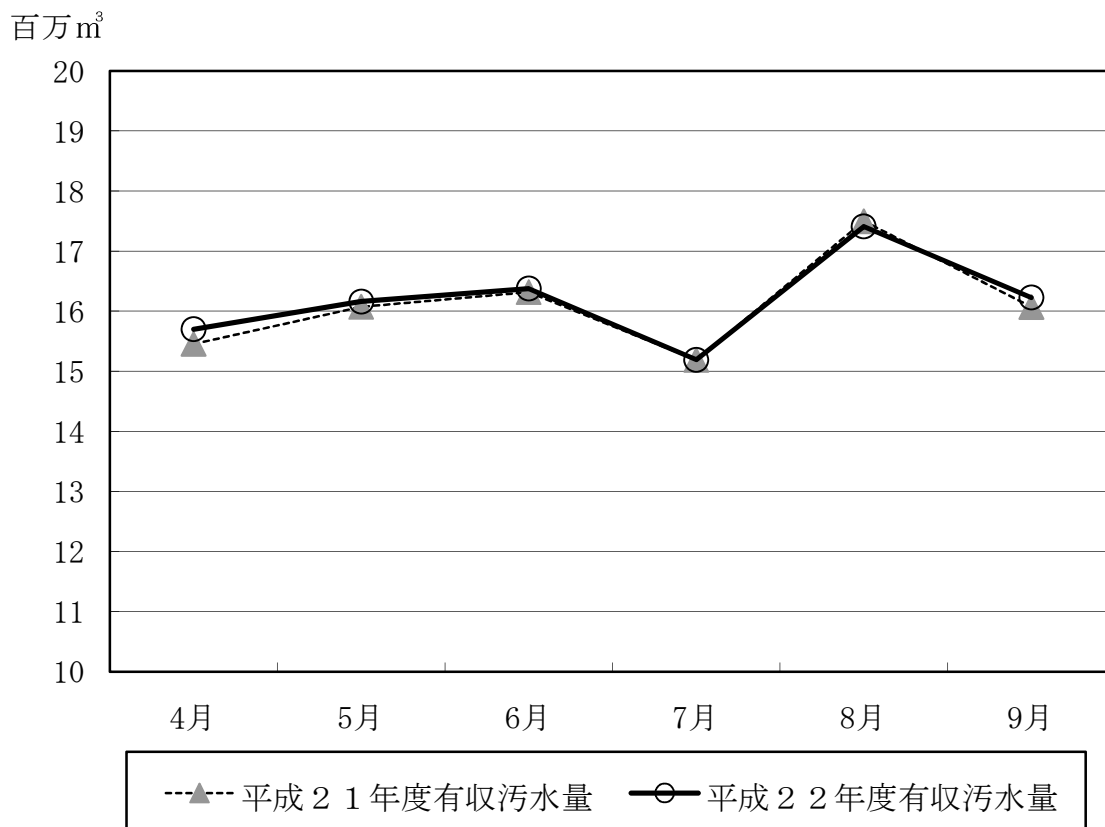
区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
公共下水道 建設事業費公債	388,691,944	766,000	13,111,111	376,346,833
資本費平準化債	7,731,000			7,731,000
合 計	396,422,944	766,000	13,111,111	384,077,833

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量
 当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m ³
22年 4月	15,700,129
5月	16,161,457
6月	16,375,293
7月	15,192,019
8月	17,408,974
9月	16,228,136
合計	97,066,008
1日平均	530,415
前年同期1日平均	527,854



(行財政局総務部総務課)